

高取山

(584m)

実施日： 2026年04月18日（土）

天 候： 晴

参加者： 8名 青木、川添、川鍋、園田、田中、檜崎、細田、園田

行 程： 壺阪寺 10：13→10：31 五百羅漢 10：35→11：00 NTT 車道 11：05→11：40 本丸跡 12：51→
13：22 猿石→13：46 高取城跡の石碑のある小橋 13：55→14：45 土佐街道のCAFÉ 15：30→
15：49 「壺阪山」 駅

2026年度最初の企画であるこのルートは、2011年11月12日に野中リーダーのもと、12名（浅野秀、今村、岡本、川井、園田、塚本、津村、中原、日比野、船越、松井、野中）で実施したことがある。この時は近鉄「壺阪山」駅から歩いて行ったが、今回はタイミングよく壺阪寺へのバスがあり、それを利用することにした。コースタイムの55分を割愛する。しかし、駅を出ると多くの人々が並んでいる。しかも、やってきたバスが少し小ぶりので我々6名がなんとか乗り込み、トイレ利用の二人は乗れそうにないが、他の客もグループなので、二人では乗るに乘れない様子なので二人を呼び込み、全員乗ることができた。おっ、今年はずいといとぞ。15分ほどで、壺阪寺に到着。ちなみに、登山者は私たちと数名のみであった。

身支度をして、お寺に向かって右の階段を上り、舗装林道へ出て、これを上る。しばらく上り、五百羅漢の分岐へ。ここからは、舗装林道を離れ、山に入る。少し上れば五百羅漢に到着。水分補給もし摩崖仏など見ながら上る。30分弱上ると、NTTのアンテナに続く舗装林道に到着。そこから少しのところだが、全山要塞となる、高取城への入り口である。壺阪門口から上るにつれ、立派な石垣が現れる。二の丸、三の丸などの石垣が次々に現れ、建物のない跡には巨木が。石垣を上り越し本丸跡は広いスペースが広がっている。普通山城といえ、砦程度のものであるが、ここは数万石の大名では及ばないほどの城であったようだ。こんな山のでっぺんに、よくぞこれ程のものを作ったものだ。ともあれ木陰でお弁当にする。

食後も本丸の少し小高くなった天守台に上り、三角点を確認。ここが山頂である。山頂での写真を撮った後も、本丸のあちこちを歩き、通常より30分ほど長く昼休憩をとった。去りがたい気もするが、下山を始める。計画に従い、猿石を経て七曲り、一升坂の急坂を下り、高取城跡の石碑のある小橋で小休止を取る。その後砂防公園を経て、土佐街道に下る。このCAFÉにてビールやアイスクリームなどでゆっくり過ごす。そして「壺阪山」駅に向かい、15：54の列車で帰路に就く。

歩行距離 7.8Km 累積上り 342m 累積下り 513m



1, 壺阪寺にてスタート前



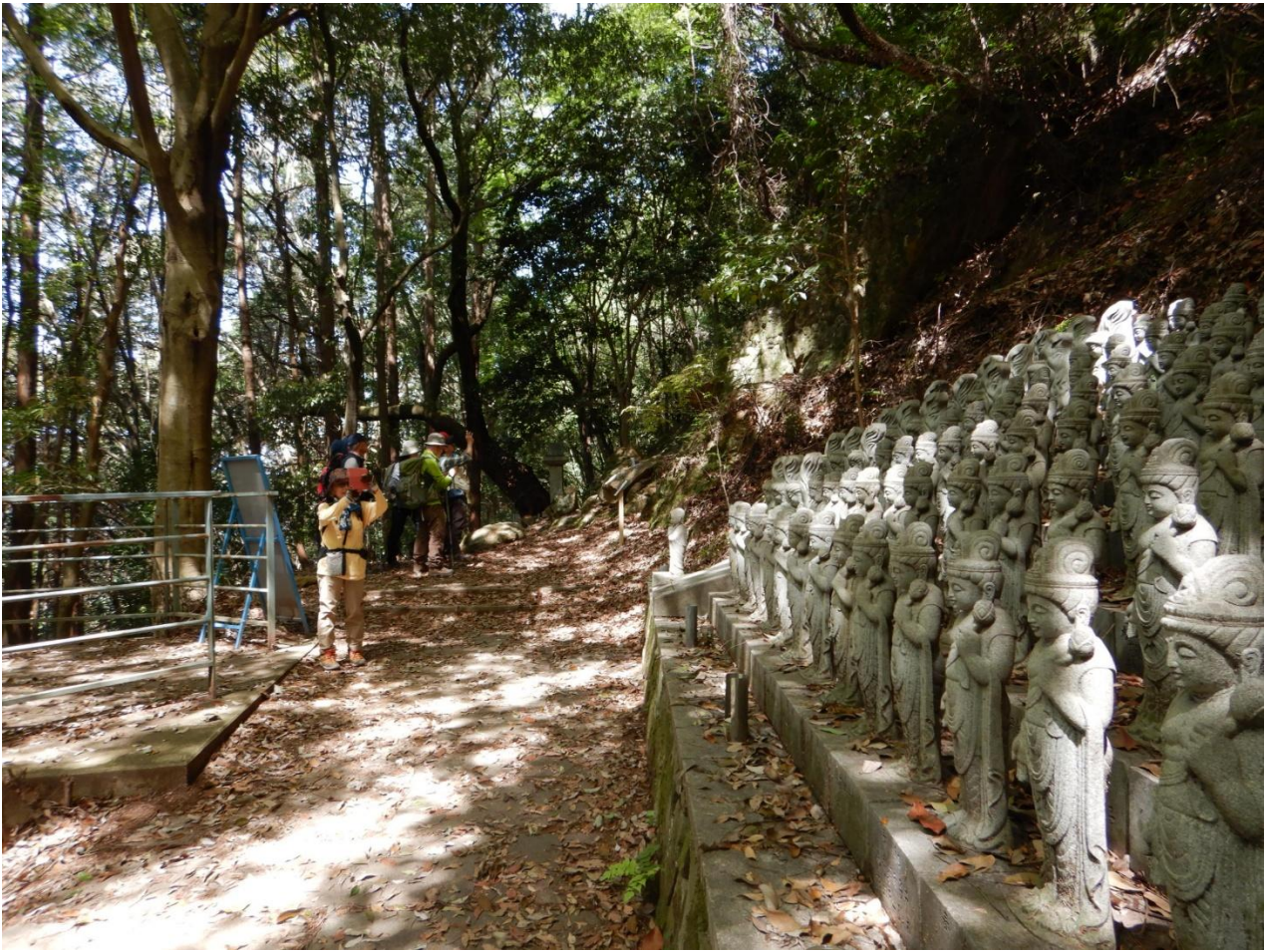
2, 壺阪寺を下に見て



3, 高取山への登山口



4, 頑張って上ろう



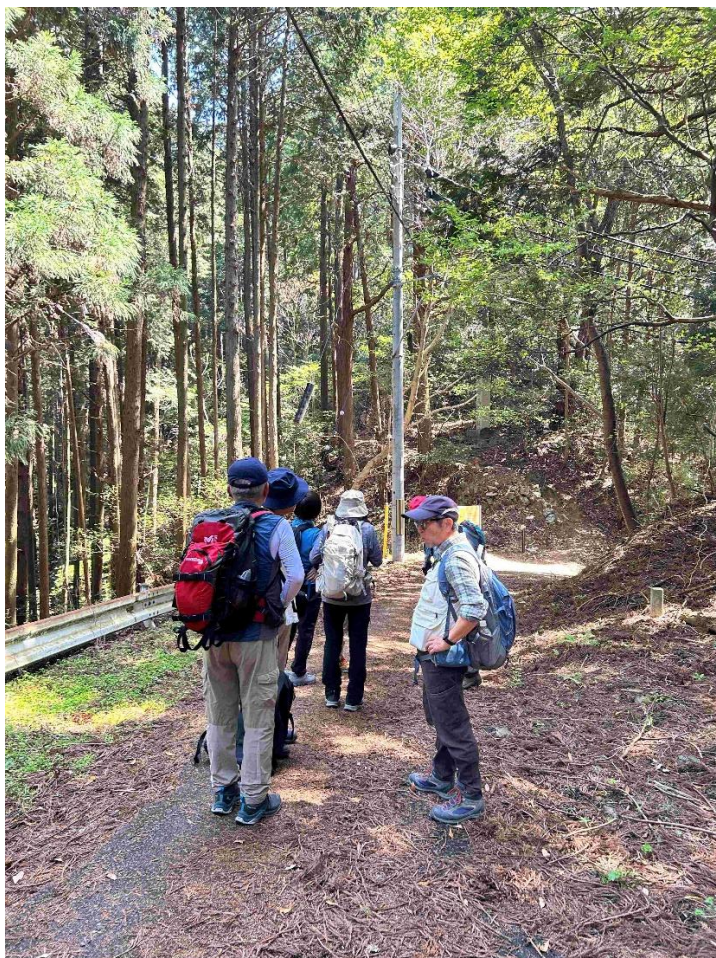
5, 五百羅漢



6, 摩崖仏もあり



7, 上りは続く



8, NTT アンテナへの車道に出る、この先が高取城跡への登り口



9, 山城とは思えない立派な石垣が



10, 次々に現れる石垣の間を上る



11, 本丸の石垣



12, 本丸の木陰でお弁当



13, 天守台の三角点で全員



14, 名残惜しいが、そろそろ下山



15, 猿石目指して下山



16, 猿石を右に見て下り続ける